



Title	新年のごあいさつ
Author(s)	笹井, 康典; 相良, 武彦; 翼, 陽一 他
Citation	makoto. 2008, 141, p. 2-5
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/85750
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

新年のごあいさつ



大阪府健康福祉部長

笹 井 康 典

新年あけましておめでとうございます。
財団法人大阪防疫協会の皆様には、益々清
祥のこととお慶び申し上げますとともに、日
頃から本府の健康福祉行政に対して格別のご
支援、ご協力をいただいていることに、心か
ら感謝申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、結核を含む
感染症をめぐる環境の変化、病原体等の管理
体制の見直しの必要性などから、感染症法が
大幅に改正されました。

春先からは、従来子供の病気と考えられて
いた麻しん（はしか）が、関東地域を中心に
10代後半から20代の年齢層を中心に大流行
し、ゴールデンウイーク明けに関西地域にも
広がりました。急速に麻しん（はしか）ワクチ
ンに対する需要が高まり、在庫量が急減し
ワクチンが入手できない状況がみられたた
め、近畿2府4県が協調して対策にあたると
ともに、国に対して、ワクチンの安定確保に
ついて緊急要望を行いました。

また、東南アジアでの鳥インフルエンザの
流行が持続していることから、新型インフル
エンザの発生が懸念され、ひとたび新型イン
フルエンザが発生すれば、感染が爆発的に拡
大する可能性があります。このため、その発
生を早期に察知して対応を行い、被害を最小
化するため、新型インフルエンザ行動計画に
基づき事前対策を行っているところです。

このように、本府では、様々な健康危機管
理事象に適切に対処し、府民の安全・安心の
確保を行うことを最重点施策としております。

今後も、この取り組みを強化し、府民の不
安解消に努めてまいりたいと考えております。

貴協会におかれましては、これまでの防疫
をはじめとする環境衛生対策の豊富なノウハウ
と高度な技術をいかんなく發揮され、今後も公衆衛生の向上に向けた取り組みや、ご活
躍を大いに期待しております。

最後に貴協会の益々のご発展と会員の皆様
のご健勝をお祈りいたしまして新年のごあい
さつとさせていただきます。

新年のごあいさつ



財団法人 大阪防疫協会

理事長 相 良 武 彦

新年あけましておめでとうございます。
皆様方にはお健やかに新春をお迎えのこと
とお慶び申し上げます。

旧年中はなにかとお力添えを頂き有り難う
御座いました。本年も変わらず御指導、御鞭
撻のほどよろしくお願い申し上げます。

さて、昨年も食品業界を始めとして長年の
信頼を裏切るような不祥事が頻発しました。
商品の安全を確かめる術を持たない我々消費者
には、食住の安心をどのように確保すれば
いいのか見当もつきません。目先の利にとら
われ、道を誤った企業がその後どうなったか。
それをよく知りつつも、不正が後を絶た
ないのはどうしてでしょうか。正直であれ、
誠実であれ、これほど素晴らしい方策はあり
ません。どうか今年こそは暮らしに安心を返
してもらいたいものです。

暮らしの安心といえば、昨年は例年にな
く、高校生と大学生の間に麻疹が大流行し、
各地で休校が相次ぎ、大きな社会問題となり
ました。その結果、厚生労働省の迅速な対策
として、20年度より中学1年生と高校3年生
を対象に、ワクチンの定期予防接種が追加
されることとなりました。2回接種の必要性と、
清潔な環境に育った若者の免疫力低下に
配慮した措置と思われます。その点からも、
新型ワクチンによる日本脳炎予防接種の一
日でも早い開始が待たれます。又、地球の温
暖化とも関連して、我が国の住環境にすっかり
定着した感のある、セアカゴケグモによる
被害が増加傾向にあります。いずれにしま
しても、当協会の業務とは密接な繋がりがあり、
真摯に取り組んでおるところです。61年の
信用と実績を大事として、これからも防疫
対策、簡易専用水道法定検査、防疫薬剤、ワ
クチン斡旋等の業務を通して、皆様方の健康
で快適な暮らしに奉仕する、公益法人として
の努力を役職員一同続けてまいります。どうぞ
重ねての御支援よろしく御願い致します。

今年が皆様方にとりましてより良い年にな
りますことを祈念いたしまして、新年のごあ
いさつとさせていただきます。

新年のごあいさつ



大阪市健康福祉局
医務保健総長
巽 陽一

新年あけましておめでとうございます。

新春を迎へ、財団法人大阪防疫協会の皆様方には益々ご清栄のこととお喜び申しあげます。

旧年中は、本市の健康福祉行政の推進に格段のご理解、ご協力を賜り、心から厚くお礼申しあげます。

さて、昨今、世界的な気候変動が大きな話題となっております。このまま気候変動が進めば、海平面の上昇による海岸線の浸食や生態系・自然環境に対して大きな影響を及ぼすといわれており、特に、これまで主に東南アジアなどで流行していたデング熱等の蚊媒介性感染症の流行地域が日本にまで拡大する可能性があると、多くの研究者が指摘しております。

また、アメリカでは依然、ウエストナイル熱が流行しており、そのウィルスの日本国内への侵入の危惧、新型インフルエンザをはじめとする新興感染症の世界的な流行の可能性など、市民の健康に重大な影響を及ぼす多くの課題があり、防疫活動の重要性がますます高くなっています。

大阪市では、これらの健康危機事象に迅速に対応していくために必要な体制整備を進め、快適で安全な生活環境を提供できますよう保健・医療・福祉をはじめ、関連機関との一層の連携を図り、健康福祉行政の推進に努めてまいります。

貴協会におかれましては永年にわたり培つてこられた防疫対策や建築物の衛生管理に関する豊富な知識と経験、高度な技術を活かされ、快適な生活環境の推進にご支援を賜りますようお願い申しあげます。

年頭にあたり、財団法人大阪防疫協会の益々のご発展と会員の皆様のご健勝、ご多幸を祈念いたしまして、新年のごあいさつといたします。

新年のごあいさつ



埼市健康福祉局健康部長
北 牧 昇

新年あけましておめでとうございます。

財団法人大阪防疫協会の皆様方におかれましては、希望に満ちた清々しい新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

旧年中は、多方面において、本市保健衛生行政の推進に格段のご協力を賜り、厚くお礼申しあげます。

わが国は景気の好調が続いているとはいえ、少子高齢化が進み、人口減少時代の到来という、大きな課題に直面しております。また、行政を取り巻く財政状況は依然として厳しいものがございます。

埼市は、政令指定都市へ移行後3年目を迎え、市民の健康・福祉の向上と持続的発展を図るとともに、魅力と活力のあるまちづくりを進めているところあります。

一方、保健衛生分野におきましては、昨年6月19日には東京都の温泉施設で、温泉水のくみ上げの際に混入する、天然ガスに起因する爆発事故が起こりました。この事故は従来の都市部の温泉施設では想定されにくいものでありました。今後、こうした不測の事態への早急な対応が求められます。

本市といたしましても、市民が健康に安全で安心して暮らせる存在感のある「オンライン」のまちづくりを進め、「住んでみたいまち・埼」を実現して参りたいと考えております。

貴協会におかれましては、「健康都市・埼」「住んでみたいまち・埼」の実現をめざした環境の確保のため、今後とも豊富な知識、経験、高度な技術を活用していただきまして、更なるご協力を賜りますようお願いいたします。

最後になりましたが、財団法人大阪防疫協会の益々のご発展と皆様方のご活躍とご健勝を心よりお祈りいたしまして、新年のごあいさつとさせていただきます。

新年のごあいさつ



東大阪市健康福祉局

健康部長 藤 田 博

新年あけましておめでとうございます。

新春を迎える財団法人大阪防疫協会の皆様方には、益々ご清栄のことと心からお慶び申し上げます。

旧年中は、本市の保健衛生行政の推進に格別のご協力を賜り、心から厚くお礼申し上げます。

さて、近年、国内外を問わず多くの災害が発生しており、能登半島や新潟中越沖での地震は、被災地に深刻な被害をもたらしました。また、ノロウィルスによる感染性胃腸炎、O157など人の健康を脅かす健康危機事象も依然として多く発生しています。

世界的に見ると、新興再興感染症の流行が危惧され、特に、東南アジアを中心に頻繁に発生している高病原性鳥インフルエンザは収まりをみせず、今後、高病原性鳥インフルエンザがヒトからヒトへの感染力を獲得し、新型インフルエンザが出現する危険性が非常に高まっています。被害を最小限に食い止めるためには、ワクチンや治療薬の開発、日頃からの感染予防対策の徹底を図ることが重要とされています。

本市におきましても、「インフルエンザ(H5N1) 対策マニュアル」を策定するとともに、不測の事態に備え、患者発生を想定した実地訓練を実施するなど危機管理体制の充実強化に努めております。今後とも市民が安全で安心して暮らせるまちづくりの実現に、より一層努力してまいりたいと考えています。

貴協会におかれましては、永年培ってこられた豊富な経験や高度な知識・技術・業績をもって、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、財団法人大阪防疫協会の益々のご発展と会員の皆様方のご活躍、ご健勝を祈念いたしまして、新年のごあいさつとさせていただきます。

新年のごあいさつ



高槻市健康部長

吉 里 泰 雄

新年明けましておめでとうございます。

新春を迎える財団法人大阪防疫協会の皆様方には益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

貴協会におかれましては、平素より本市の保健衛生行政の推進にご協力をいただき、心から厚くお礼申し上げます。

さて、昨年は麻疹の流行、O157やノロウイルス等による感染症が継続的に発生し、高槻市保健所におきましてもその対応に追われたところです。

また、昨年は観測史上稀に見る猛暑で、地球の温暖化を痛感するとともに、亜熱帯地方で流行しているマラリアやデング熱の日本への侵入が益々危惧されるところです。加えて、アメリカ等で流行しているウエストナイル熱ウイルスの日本への侵入も危惧されるところです。

一方、南海沖地震など関西地方においても大地震の発生する可能性が高まっており、災害時における緊急対策など危機管理体制の整備、対策が重要な課題となっております。

貴協会におかれましては、永年培ってこられた防疫あるいは環境衛生対策などに関する豊富な知識や高度の技術を遺憾なく發揮されることを期待しております。今後とも本市の保健衛生行政の推進に、より一層のご支援をお願い申し上げます。

最後になりましたが、貴協会の益々のご発展と会員の皆様方のご健勝ご多幸を心から祈念いたしまして新年のご挨拶とさせていただきます。

新年のごあいさつ



大阪府保健所長会 会長
大阪府和泉保健所 所長
岡 澤 昭 子

新年あけましておめでとうございます。
財団法人大阪防疫協会の皆様方には、平成20年の新春をすがすがしくお迎えのことと、こころからお慶び申し上げます。

旧年中は、保健所事業の推進にご理解・ご協力賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、今年は子年です。ねずみは十二支の一番初めで、神様が十二支を決めるときに、牛の頭に乗って駆けつけ、整列時に牛の前に飛び降りて一番になったといわれています。また、ねずみは貴会や保健所の活動とも大いに関係し、環境衛生上の対象動物ともなっています。さらに、「子」の字は「ふえる」意味で、種子の中の新しい生命が芽生える様子を表しているそうです。

新しい「子」の年は、種子の中の新しい生命が芽生えるごとく、地域保健・医療・福祉の分野で新しい活動が芽生えていくように思われます。すなわち、健康増進計画、医療計画、介護保険事業支援計画、医療費適正化計画等々の計画の改正・新規作成が行われています。新しい年を迎へ、保健所は、新しい生命である各種計画が計画づくりに追されて疲れ果て、計画倒れにならないよう、実行あるものにし、ねずみ算のように活動の輪を増やしていくかねばなりません。

貴協会におかれましては、これまで培われた豊富な知識・技術・業績をもって、保健所へのさらなるご支援をよろしくお願ひいたします。

最後になりましたが、貴協会のますますのご発展と、会員の皆様のご健勝・ご多幸を心から祈念しまして、新年のごあいさつとさせていただきます。

新年のごあいさつ



財団法人
阪大微生物病研究会
理事長 東 雅

新年明けましておめでとうございます。
皆様方には、お健やかに新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。旧年中は、財団法人阪大微生物病研究会のワクチン事業に対しまして、格別のご理解とご尽力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年は、感染症の脅威がまさに私たちの身近な問題であるとして度々報道されました。関東近隣で若年者を中心に麻疹が流行し、春の連休を挟んで全国に拡がるという事態となりました。一時的ではありましたが、各地で検査薬やワクチンの不足が生じました。折しも、2012年の麻疹ん排除目標に向けて、一昨年より麻疹んと風疹んワクチンの2回接種が法定接種として導入された中でのこの麻疹んの流行は、現在の感染症対策に対する私たちの姿勢に警鐘を鳴らすものです。

さらに、昨年注目された話題のひとつとして「地球温暖化」が挙げられます。各地における昨夏の記録的な猛暑は、地球規模で温暖化が進行していることを私たちに実感させる現象でした。この地球温暖化によって、国内においても蚊が媒介するマラリアや水系汚染によるコレラなど、現在日本では数少ない熱帯性感染症の発生が増加すると危惧されています。このように感染症とは、いついかなるときも私たちと密接に関わっているものであり、従って防疫対策に対する国民一人一人の積極的な行動が、益々求められています。

そして今年、わが国のおいしい感染症対策の一つが始まろうとしています。昨年の麻疹ん流行を受けて、今年4月より、従来の乳幼児を対象とした定期接種に加え、中学1年生と高校3年生相当の方を対象に、麻疹ん風疹ん混合ワクチンの接種が開始されます。私共微研財団におきましても、ワクチンの製造、供給を通じて接種現場の皆様のご要望にお応えできますよう一層努めてまいります。

最後になりましたが、貴協会の益々のご発展と皆様方のご活躍ご健勝を祈念申し上げ、新年のご挨拶と致します。